

当院にて Hemifacial microsomia (第1・第2鰓弓症候群) の矯正治療を受けられた患者様へ

この度、東京歯科大学千葉歯科医療センター矯正歯科において「Hemifacial microsomia のチーム医療に関する全国的な実態調査」という研究を行うことになりました。調査には全国19の医学部・歯学部附属病院、小児病院、総合病院、矯正歯科診療所の矯正歯科医が参加する予定です。東京歯科大学千葉歯科医療センターは主たる研究施設として、調査結果をまとめることになっています。内容をお読みになり、ご理解いただけましたら、研究にご協力くださいますようお願いいたします。

#### 【対象となる方】

1990年4月1日～2018年3月31日の間に、本院矯正歯科において、Hemifacial microsomia に対する矯正歯科治療を受けられた患者様です。

#### 【研究の意義】

Hemifacial microsomia の治療には、形成外科、口腔外科、矯正歯科など、複数の診療科によるチーム医療を行う必要があります。しかし、これまでわが国においては、チーム医療の実態が判っておりませんでした。幼児期から成人に至るまでの医療の実態を知ることは、より効果的・効率的な治療、すなわち患者様にとってなるべく負担の少ないチーム医療計画を考える上で大いに役に立つと考えられます。

#### 【研究の目的】

顎顔面の外科手術と矯正歯科治療に焦点をあて、従来行われてきた治療の実態を明らかにします。

#### 【研究の方法】

本研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に則り、東京歯科大学倫理審査委員会の審査を経て、学長の承認を得ています。

これまでの診療でカルテに記載されている手術、矯正歯科治療の記録、矯正歯科検査結果などのデータ(下顎骨の形態によるタイプ、患側、性別、生まれた年代、小耳症の有無、矯正治療の方法、手術時期、手術法、顎矯正手術以外の手術の既往)を収集して行う研究です。研究のために新たな資料を採取することはありませんので、特に患者様にご負担をいただくことはありません。また、情報を収集するため症例調査票を作成しますが、症例調査票には、住所、氏名など患者様の個人が特定される情報が入力されることはありません。

本研究の成果につきましては、学会誌への公表を予定しておりますが、名前や個人を特定する情報が公表されることはなく個人情報保護されます。当院矯正歯科初診患者様の説明において、全ての患者様に対して治療のために用いた、診療録、検査結果等につきまして匿名化を行った上で、学術的発表に用いることがある旨の説明を口頭で行い、既に同意を得ております。しかし、ご自分のデータを使用されたくない場合は、下記担当者までお申し出ください。その際は、不同意書をお渡しいたしますので、必要事項をご記入の上、ご提出をお願い致します。それによって患者様が不利益な扱いを受けることはございません。また、本研究に関するご質問あるいはご意見がある場合は、いつでも下記担当者、あるいは問い合わせ窓口にご連絡ください。

お問い合わせ先

東京歯科大学千葉歯科医療センター矯正歯科

研究責任者 坂本輝雄

電話：043-270-3903